

子どもたちの安全を願って

ランドセルカバー贈呈式



▲園田さん(左)と山崎教育長

4月2日、春日地区交通安全協会(春日支部)から、ランドセルカバー約1,100枚が市へ贈呈されました。通学に慣れていない新1年生が交通事故に遭わず、楽しく学校生活を送ってほしいとの願いを込めて20年以上続いている取り組みです。

同支部長の園田登美雄さんは「子どもたちが毎日元気に登校し、安全に帰宅できることを願っています」と語りました。

デジタル・トランスフォーメーションを推進

地域活性化起業人着任式



▲小林さん(左)と高田副市長

4月1日、地域活性化起業人の小林祐太さん(Sira nto合同会社)が市に着任しました。これは、国の制度を活用したもので、期間は令和8年9月まで。市は民間企業のノウハウを活用し、電子申請など行政手続きのオンライン化をより一層進めていきます。

小林さんは「より便利で分かりやすい行政サービスの実現に貢献したい」と抱負を述べました。

チアリーディング全国大会

特別賞ベストインプレッション賞の受賞を報告



▲Shiny☆Girlの皆さんと高田副市長(中央)

4月10日、市などで活動するチアダンスチームShiny☆Girlの森脇拓真さん他3人が市役所を訪れ、3月に幕張メッセ(千葉県)で開催された同大会で特別賞を受賞したことなどを報告しました。同チームでは、子どもから大人まで、幅広く活躍しています。

4人は「友人に誘われて始めたダンスだが、踊っている時間が楽しい。これからも続けていきたい」と笑顔で語りました。

市内小・中学校入学式

輝かしい学校生活のスタート



▲決意の言葉を述べる新入生の松山さん

4月9日に市立中学校で、10日に市立小学校で入学式が行われ、中学生1,154人、小学生989人が新たな門出を迎えました。

春日東中学校では、体育館改修に伴いふれあい文化センターで入学式を開催。新入生代表の松山詩さんが「学習や部活動で壁にぶつかっても、仲間と手を取り合い学び合っていく。一言一言の言動を考え、行動する」と決意を述べました。



年に1度の演奏会

市少年少女合唱団第29回定期演奏会



▲会場いっぱいに歌声を響かせる子どもたち

4月26日、ふれあい文化センターで同合唱団の定期演奏会が開催されました。合唱曲ステージ、アカペラストージでは、明るく美しいハーモニーを響かせ、ミュージカルステージでは、伸びやかな歌声と豊かな表現を披露しました。

来場者からは盛大な拍手が送られ「笑顔になった」「きれいな歌声を聞いて心が満たされた」といった感想が寄せられました。

地域の歴史に親しむ

奴国のまち歴史フェス



▲気分は奴国王

4月18日、奴国の丘歴史資料館と同歴史公園で、NPO法人春日地域推進協議会による奴国のまち歴史フェス(市共催事業)が開催され、約360人が来場しました。

大迫力の和太鼓の演奏を皮切りに、文化財や歴史を楽しく学ぶ歴史講座、軽食、アクセサリー、占いなどの出店、子どもたちも大喜びの大道芸など、終始、笑顔があふれるイベントとなりました。

★表紙関連

KBCアナウンサー長岡大雅さんも参加

コーすけウォーキング春日

4月18日、市と包括連携協定を結んでいるエフコープ生活協同組合によるコーすけウォーキング春日(市共催事業)が開催され、市内外から225人が参加しました。

コーすけウォーキングは、地域の魅力を再発見できる多彩なコースが特徴で、家族や友人と自分のペースで気軽に参加でき、県内各地で行われています。

当日はテレビやラジオで人気のKBC九州朝日放送のアナウンサー長岡大雅^{ながおかたいが}さんも参加し、開会式では軽快なトークで盛り上げました。スタート地点には市のマスコットキャラクター「かすがくん・あすかちゃん」も応援に駆け付け、参加者と触れ合いました。

一斉にスタートした参加者は、大土居水城跡、ウトグチ瓦窯跡、春日西多目的広場公園、白水大池公園などを通る全長約8kmのコースを巡りました。

ゴール地点では、コープ共済キャラクター「コーすけ」が出迎え、参加者をねぎらいました。



▲スタートの掛け声を上げる長岡さん



▲長岡さんの掛け声に応える参加者